

環境技術実証モデル事業展示・シンポジウムについて

H18.10.10. 環境省環境研究技術室

1. 経過報告

エコ・プロダクツ展における展示ブースを6ブース確保(1ブース3m×3m)
同時に行うセミナー室を1室確保(100名程度、午後半日)
展示・シンポジウムの企画・運営に係る業務について公示中。今週入札予定。
これまでの実証参加企業から展示希望多数(別紙机上配布)

2. 展示について

エコ・プロダクツ展における展示では、「広報」「実証ベネフィット」「情報収集」を目的とする。
「広報」としては、環境省が行う技術普及施策として認知度を向上させ、環境に関心のある一般国民からメーカー、ユーザーまで、広く本取組を認知してもらうことを期待する。
「実証ベネフィット」としては、このような展示機会が必ずしも得られなかった企業等に対する実証参加のメリットとすることで、参加へのインセンティブ向上につながることを期待する。
「情報収集」としては、環境省における、社会の実証ニーズの把握や、制度向上のための基礎資料の収集機会として活用していく。

3. シンポジウムについて

前回検討会における指摘を踏まえ、対象を一般に広げず、事前登録制とする。具体的には、関連のある団体に所属する企業等に対して事前に案内を送り、参加登録をしてもらうこととする。
内容は、主として今後の実証の仕組みのあり方を議論することとする。
シンポジウムは、基調講演、これまでの取組の報告、今後の実証の仕組みのあり方についてのパネルディスカッションの3部構成を予定。